パネルディスカッション

「データ流通」社会の実現に向けて、DTAは何をすべきか？

パネラー

- 経済産業省 商務情報政策局情報経済課 関根　様
- 総務省 国際戦略局通信規格課 稲森　様
- 事務局長 運用基準検討委員会 真野　委員長
- 認定・監査委員会 筏井　委員長
- 技術基準検討委員会 内藤　委員長
- 利活用促進委員会 若目田　委員長

モデレータ

- 杉山理事

Copyright © 2019 Data Trading Alliance, All Right Reserved.

パネルディスカッション

Data Trading Alliance

- 第１ラウンド（15分）
  - ・「データ流通」社会の実現に向けて、ＤＴＡは何をすべきか？
  - ・各委員長からのコメント
- 第２ラウンド（15分）
  - ・異業種間のデータ連携により、どのような価値が見出せる？
- 第３ラウンド（15分）
  - ・DTAは（国際）標準化へ、今後取り組むべきか？
- ファイナルラウンド（15分）
  - ・経済産業省、総務省からのコメント

Copyright © 2019 Data Trading Alliance, All Right Reserved.

本日のモデレータご紹介

Data Trading Alliance

杉山 恒司（すぎやま こうじ）

- 元NTT本社(分割前)
- 株式会社ウフル IoTイノベーションセンターディレクター
- 大分県 商工労働部戦略アドバイザー
- 経済産業省九州経済産業局 九州IoTコミュニティサポーター
- （一社）日本OMG 主席研究員
- （一社）データ流通推進協議会（DTA） 理事（広報担当）
- （一社）官民データ活用共通プラットフォーム協議会（DPC） 技術顧問
- （一社）益田サイバースマートシティ創造協議会（MCSCC）顧問

Copyright © 2019 Data Trading Alliance, All Right Reserved.

「データ流通」社会の実現に向けて、DTAは何をすべきか？

Data Trading Alliance

運用基準検討委員会

データ利用者・提供者にとって安心・安全なデータ流通の実現のため、データ流通事業者に対するガバナンス、遵法性の観点から、**自主的なルール及び一定の要件を満たす者を認定・公表**し、社会的に認知する仕組みを整備することで、遵守体制を確保する必要がある。

データ流通、データ主導社会の発展のためには、データ流通事業者間の**相互連携によるサービス提供**、データフォーマット等の整備を図っていく必要がある。

データ提供者が安心して、かつスムーズにデータを提供でき、またデータ利用者が欲するデータを容易に判断して収集・活用できる**技術的・制度的環境を整備**することで、データ利活用を促進する。

□ データ取引市場運営事業者認定

- 取引市場運営者の要件

データ取引市場参加者資格の設定

- データ提供者の参加資格、データ提供先の参加資格

技術インタフェイス要件の設定

- データ取引市場運営事業者・参加者間の技術的要件

「データ流通」社会の実現に向けて、DTAは何をすべきか？

認定・監査委員会

2017年6月	総務省	情報通信審議会　情報通信政策部会　IoT政策委員会　基本戦略ワーキンググループ **データ取引市場等サブワーキンググループ取りまとめ** http://www.soumu.go.jp/main_content/000501149.pdf
2017年11月	DTA	一般社団法人データ流通推進協議会　設立
2018年8月	DTA	運用基準検討委員会 **データ取引市場運営事業者認定基準_D2.0** https://data-trading.org/wp-content/uploads/2019/01/dta_20180928_01.pdf **データ取引市場運営事業者認定基準の説明** https://data-trading.org/wp-content/uploads/2019/01/dta_20180928_02.pdf
2019年x月	DTA	認定審査委員会（認定・監査委員会から名称変更予定） **データ取引市場運営事業者認定審査チェックリスト** **データ取引市場運営事業者認定審査手続書** 認定審査の実施

Data Trading Alliance

データ流通活性化に向けた検討課題（例）

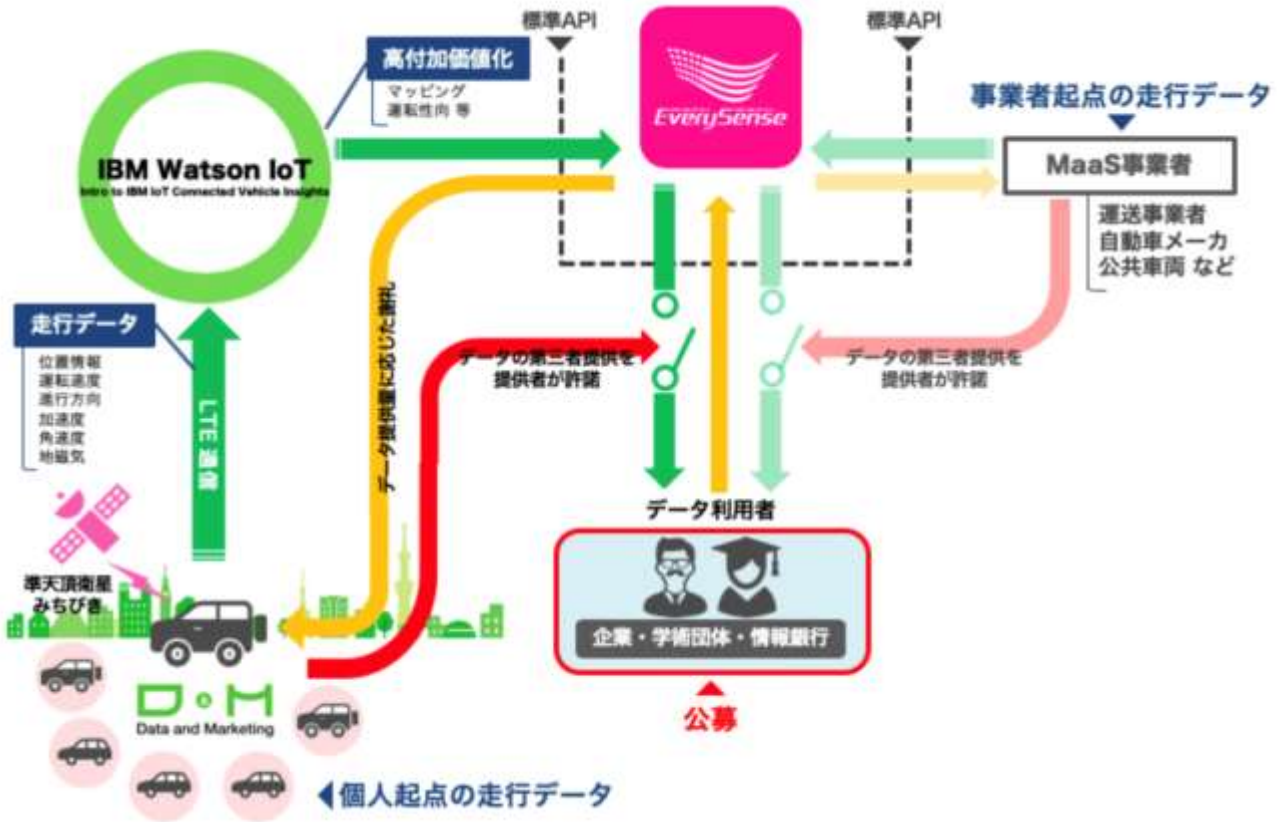
No	区分	主な検討課題	内容
1	技術	データディスカバリを実現する機能	• データ利用側によるデータ検索を容易にするための機能要件（データカタログ用APIの標準化など） • データ流通事業者によるメタデータの登録・更新・削除を容易にするための機能要件 • データカタログの運用スキームの策定　など
2		メタデータ	• メタデータの項目や値の語彙等の標準化　など
3		API	• APIの利用規約（利用条件、免責など）の在り方 • APIの仕様（メタデータの登録・更新・削除用API）　など
4	制度	データのユースケース提示	• データ提供者等より提供されるデータのユースケースの付与方法（例：データジャケット） • 運用スキームの策定　など
5		データ提供側の信頼性評価	• データ提供側やデータ生成機器（センサなど）の評価・認証制度　など
6		データの信頼性確保	• データ品質確保のための基準策定 • データ利用側による提供データを評価する仕組み　など

経済産業省・総務省(IoT推進コンソーシアム)によるデータ流通促進WG データ連携SWG
「データ流通プラットフォーム間の連携を実現するための基本的事項」より

DTA会員企業
データ利活用ビジネス事例

Copyright © 2019 Data Trading Alliance, All Right Reserved.

自動車データの新しい収集の仕組み：エブリセンスジャパン等



現在のテレマティックスデータは、自動車メーカーによる自社の特定車種、およびそのユーザから収集されているため、データ収集範囲・方法とデータの活用範囲が限定され、データとしての網羅性に欠けてる。この課題を解決するため、自動車の走行データを活用した新しいビジネスモデル創出を支援する、自動車メーカーおよび業種・業態に因われないオープンテレマティクスプラットフォームを構築する。

出典：エブリセンスジャパン

Copyright © 2019 Data Trading Alliance, All Right Reserved.

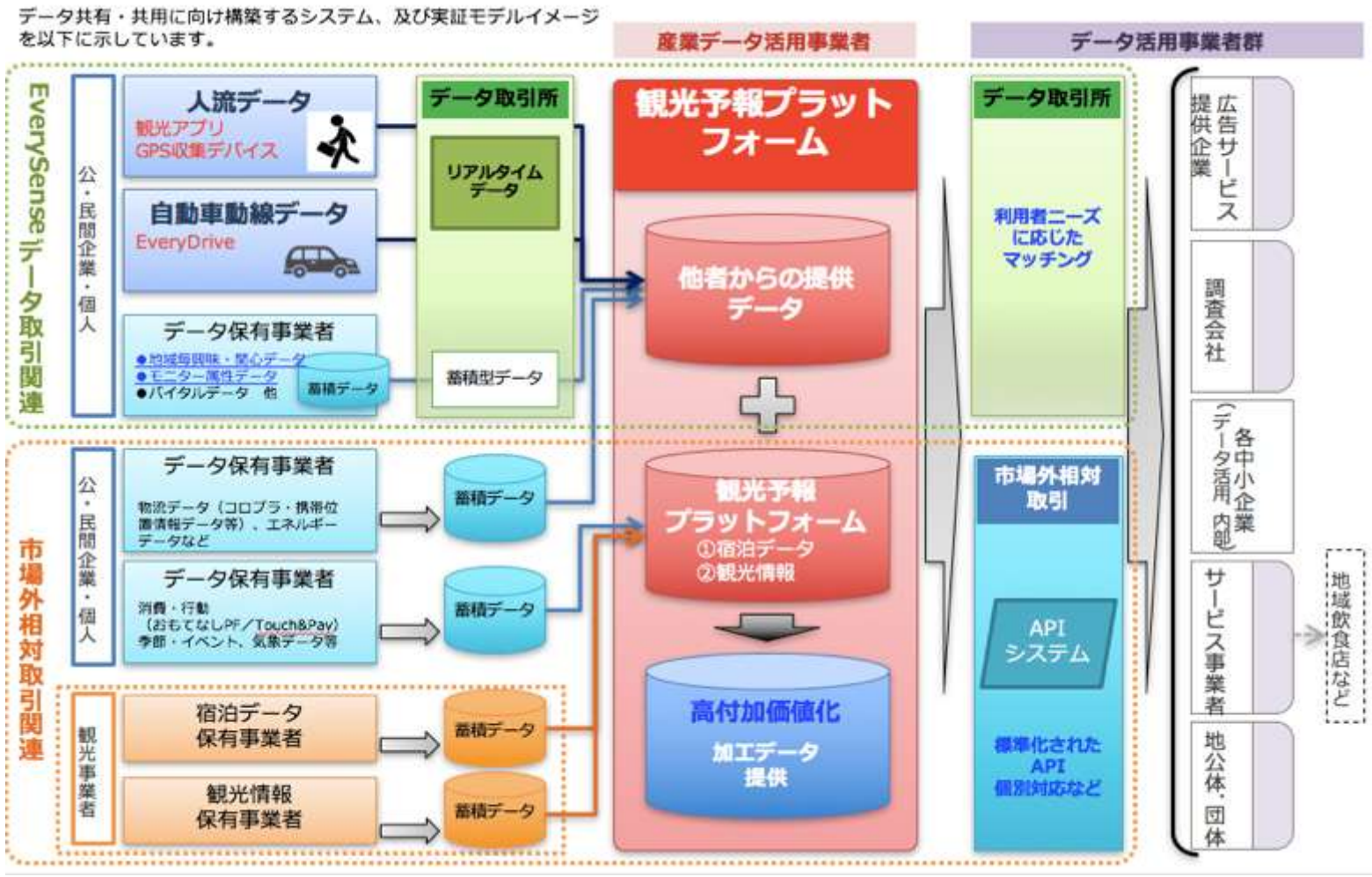
新しいサービス創出を目指すデータ連携基盤構築：広島県等

同プロジェクトは、データ連携基盤を開発するとともに、企業が保有するデータおよびオープンデータを活用した研究や新サービスを作り、地域に貢献することを目指す。そして、データ連携基盤そのものを事業化して、広島県発の事業としてグローバルに展開したいという。

出典：広島県

Copyright © 2019 Data Trading Alliance, All Right Reserved.

観光をより精緻に予測：観光予報プラットフォーム等



１億泊以上の宿泊ビッグデータを中心に、観光に関する多様なデータを継続的に蓄積。リアルタイムデータと蓄積型データを関連づけて解析し、観光をより精緻に予測することを想定。
（ある土産店・食堂では、データ活用で売上4倍、利益率 10 倍になった例も。）

出典：観光予報プラットフォーム

Copyright © 2018 Data Trading Alliance, All Right Reserved.

白浜プロジェクト：ウフル

出典：株式会社ウフル

Copyright © 2018 Data Trading Alliance, All Right Reserved.

DTAは（国際）標準化へ、今後取り組み ？

制度的な基準

データ 取引市場

- データ 提供者
- 取引市場運営事業者
- データ 提供先
- 3Entity modelを提唱

Society 5.0

- ISO TC 化へ国内協議

BIG Data Governance

- NIST / IEEE と連携

技術的な基準

データカタログ　データ の発見を容易に

- W3C DCATなどと連携協議中

データ語彙体系　カタログ内容の表記を容易に

- IPA IMI と連携協議中

データ品質評価　データ 価値の評価を共有

- 技術検討委員会で検討中

データ構造の共有

- データ の活用　IEEEとの連携